

令和3年度(2年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市文化会館 >

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ～ 令和3年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 文化会館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 文化会館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表									
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P10(利用率) 【利用率(全体)】 32.9% 【利用率(部屋別)】 大ホール:39.3% 小ホール:33.2% 展示室A:29.3% 展示室B:42.4% 大会議室:38.6% 練習室1:33.9% 練習室2:27.2% 練習室3:28.6% 練習室4:10.8% 和室:20.5% (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点	
				新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	年次報告書P11(利用人数) 【利用人数(全体)】 42,664人 (R1)185,082人 【利用人数(部屋別)】 大ホール:13,530人 小ホール:7,731人 展示室A:5,175人 展示室B:3,161人 大会議室:6,890人 練習室1:2,129人 練習室2:1,451人 練習室3:1,258人 練習室4:282人 和室:1,057人 (新型コロナウイルス対応 一律4点)	4点	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P11～13(文化事業一覧) ・市民文化祭 当初5～6月に6日間の会期で予定していたが、8～12月に延期し、1日あたりの出演・来場人数を減らすため11日間に分散させて開催した。 邦楽の部(3日間) 来場者50人 出演者58人(7団体) 合唱の部(1日間) 来場者40人 出演者44人(4団体) 器楽の部(2日間) 来場者123人 出演者87人(10団体) ダンスの部(5日間) 来場者1,144人 出演者 558人(25団体) ・まるごと1日音楽の日 メインコンサート(市民合唱団とオーケストラの共演)は中止し、ミニコンサート3本を1日で行う形に変更して開催した。 来場者230人	仕様書以上 12点	・「市民文化祭」は緊急事態宣言により臨時休業期間の影響で開催時期を変更して実施された。出演者は例年と比べて大幅に減ったが、開催期間に幅をとり、入れ替え制にするなど密を避けるなど対策と工夫をしながら、利用者の発表の場を確保することに努めた。 ・「まるごと1日音楽の日」も日程を6月から11月に延期せざるを得なかったが、市民合唱団の練習再開の目処が立たずメインコンサートも中止を決断。現状で開催できる方法を模索した結果、地元演奏家によるコンサート3本を時間帯を分けて開催する形式とし、乳幼児から高齢者までが音楽を楽しむ機会を確保することができた。	12点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P13～22(文化事業一覧) ・ホール事業 大小ホール計4事業1,047人 (P15,16)※翌年度へ延期または中止した事業 計7事業 ・にぎわい創出事業 18事業1,726人 (P13,14,16～19)※翌年度へ延期または中止した事業 計2事業 :希望という名のコンサート1回362人、ふらっとコンサート6回475人、ニッ目ふたり会(落語)3回326人、地域演奏家による再会イベント3回200人 ほか ・文化活動支援事業 10事業828人 (P13,14,19～20) ※翌年度へ延期または中止した事業 計4事業 :地元出身若手演奏家によるコンサート2回362人、バンド講座8回166人、バンド発表会103人(8団体)、ピアノ開放事業14回73人、たじミュージック(公民館等連携事業)1回124人 ・普及活動事業 15事業1,027人 (P13,21,22) :おんがくのたね 小学校9校808人(中学・高校に向けたアウトリーチは翌年度に延期)、中学生との交流事業(Buzz Five)1回126人、プロによる実演講座・リハーサル公開(狂言、宮川彬良)2回	期待以上 12点	新型コロナウイルスの感染状況が刻々と変化し、イベントに関する制限・制約がある中、その時点で実施できることを柔軟に考え、市民の鑑賞機会・活動機会を可能な限り確保するよう努めた。 ・ホール事業は、施設休業や入場者数制限のため通常通りの開催が難しく、7本を次年度へ延期または中止した。払い戻しや振替等の業務に1年を通じて追われることとなったが、適正な処理に努められた。 ・地域の演奏家によるコンサートを可能な限り多く設けたことで、コロナ禍で長期間演奏の場を喪失した演奏家が再び活動を始めるきっかけとなり、市民にも遠方へ出かけず地元で鑑賞する機会を提供することができた。(再会イベント、希望という名のコンサート、若手演奏家コンサート) ・入場無料のロビー事業「ふらっとコンサート」は、密を避けるため大ホールに場所を移すことで、前年と同様8回実施され、地域の人々が手軽に音楽を鑑賞できる機会を継続的に確保した。 ・小学校へのアウトリーチは、コロナ禍で学校側の敬遠が懸念されたが、通常の音楽の授業(歌唱・器楽等)が困難な状況から、大半の学校から実施の要望が寄せられた。 ・中学・高校・大学との連携事業(演劇、吹奏楽)は次年度に繰り越したが、公的助成制度の活用を計画していた取り組みを評価する。	12点	
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①清掃	年次報告書P23(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。 加えて、特別清掃 ①床の剥離清掃 ②屋外タイル舗装の高圧洗浄 ③換気扇・空調吸込み口の清掃を実施した。 緊急事態宣言に伴う臨時休館期間(4/7～5/24)は館内清掃業務を週3回に変更した。	適正(普通) 2点	規定の業務のほかに特別清掃、休業期間中の館内清掃も行われ、適正に実施されている。	10点	
				②保守・点検	年次報告書P23～24(維持管理業務) 建物維持管理業務は文化会館・学習館・笠原中央公民館の3施設をまとめて、高度な専門性を有し全国的な実績を持つ民間企業に包括的に委託し、業務の効率化(人材・情報の共有化等)を図っている。 加えて、①汚水・雨水マンホール内部の定期点検 ②天井点検口の状態確認点検 を独自に実施している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
				③保安・警備	年次報告書P24(維持管理業務) 機械警備及び保安警備を委託	適正(普通) 2点	規定の点検のほかにマンホール内部や天井点検口の点検なども行われ、適正に実施されている。		
				④小規模修繕	年次報告書P25～26(有償修理の内訳) 有償修理 全43件 総額 5,410,416円(前年比1,153,019円) ・うち1,289,200円を費やしてコロナ対策工事を実施した。(詳細は年次報告書P32に記載) ・40年前の竣工時から未更新となっている消防設備の更新を順次行っている。屋内消火栓ホースはR2年度に全箇所の更新が完了し、誘導灯は95%の更新率に達した。	適正(普通) 2点	コロナ感染対策を含めて、施設環境の改善に向けた修繕が適正に実施されている。		
				⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	年次報告書P27(危険箇所の把握) ・チェック表を使った毎朝の点検、市公共施設管理室作成の日常点検チェックシートに基づいた点検(2週間に1回)を確実に行之い、危険箇所の早期発見に努めている。 ・常に注意を払う必要がある箇所等を拾い出した「危険発生・要注意箇所マップ」を作成、全職員で危険箇所の情報を共有し、トラブル発生時に適切な対応ができるよう備えている。元年度はさらに「雨漏り・漏水マップ」を作成し、危険箇所・要注意箇所の「見える化」を進めている。 ・協定で定められた項目以外にも独自の点検項目を設け危険箇所の把握に努めている。(マンホール、点検口等) ・危険箇所を発見した場合や実際にトラブルが発生した場合は、速やかに修繕等の対応を行っている。R2年度は、エレベーター内の鏡破損、ガラス外壁の隙間発生への対処、第3駐車場の樹木の枝落下への対処等を行った。	適正(普通) 2点	チェック表や「マップ」の活用等、独自の方法で危険箇所の把握、情報共有に努めており、適正に実施されている。		

			①文書管理		15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点)	年次報告書P27(①文書管理) ・多治見市のファイリングシステムに準じて適正文書管理に努めている。 ・施設内に保管されている図面類の所在がすぐにわかるよう、一覧化・データ化をおこなった。文化スポーツ課が持つ図面のリストもあわせ、両者相互で情報の共有を行っている。 ・さらに令和4年度予定の大規模改修工事に役立てるため、倉庫内に保管してある修繕資料・申請書類等のリストも作成し、市および設計事務所と情報共有している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	2点
2	(2)その他管理業務の実施状況(15点)		②環境への配慮				年次報告書P28(②環境への配慮) ・電気使用量削減と環境負荷低減のため、照明器具のLED化に継続的に取り組んでいる。R2年度は蛍光灯の総数の1/4にあたる152本のLED化を行った。 ・節水対策とコロナ対策の両方の観点から、トイレの手洗いの自動水栓化に取り組んだ。(6ヶ所改修)市の改修ともあわせ、館内すべてのトイレで自動水栓化が完了した。 ・周辺環境美化のため、毎朝の巡回清掃や高齢者の自主組織による週2回の屋外清掃を継続して行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	8点
			③バリアフリー				年次報告書P28(③バリアフリー) ・高齢者、親子連れ等の利用が増え、手すり設置や段差解消などの施設改修を進め、誰もが利用しやすい施設づくりに努めている。大ホール舞台のバリアフリー化として、組立式スロープの製作や各階段への手すり設置等に取り組んでいる。 ・未就学児の入場制限のある催事の際には、必ず託児サービス(有料)を行い、子どもを持つ女性が催事に参加しやすいよう配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理				年次報告書P28(④備品管理) ・部屋ごとの備品一覧を独自に作成し、備品の入れ替えのたびに随時更新している。また、机・椅子など種類・数量が多い備品については、写真入りの資料を作成して備品管理がしやすいよう努めている。 ・故障した備品は速やかに修繕を行っており、R2年度は大ホール音響サブミキサー、マイク、紙折り機、アップライトピアノの修理を行った。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護				年次報告書P28(⑤個人情報保護) ・個人情報を含む書類等を鍵のかかるキャビネットに保管し、廃棄する際はシュレッダーで裁断、焼却処分している。 ・原則として名簿等の個人情報のメール送信は禁止している。送付する必要がある場合には、必ず関係者しか閲覧できないロックをかけている。 ・定期利用団体や講座の講師へのお問い合わせに関しては、その都度代表者や本人に確認した上で対応するようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				⑥事故等への対応		0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P29(⑥事故等への対応) ・第3駐車場で入口の大きな枝が落下 [対応]落下した枝による人や車両への被害はなかった。造園業者により強剪定を実施するとともに、敷地内の他の樹木の点検・剪定も行った。 ・第3駐車場で自動車がフェンスに衝突 [対応]フェンスが大きく破損したが、人や他の車両への被害はなかった。警察対応を行い、フェンスの復旧は運転者が加入する保険により行った。 ・大ホール出演者のコロナウイルス陽性が判明 [対応]主催者のNHK、市とも連携を取りながら、消毒作業、利用者への説明、マスコミ対応等を行った。	事故なし・対応に不備なし 0点	枝の落下や車の誤操作は人的な被害が出なかったのが幸いであった。特に枝の落下については、その後の点検など適正な対応がされている。
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	5	新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	収入131,599,324円÷支出132,166,853円＝99.5%	4点	収入において、多治見市より別途「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として7,282,441円を交付。 新型コロナウイルス対応一律4点(令和2年度のみ)	4点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点		年次報告書P31,32 コロナ禍の中、施設を利用して活動したいという市民ニーズに応えるため、制限・制約の中でも何とか利用いただけるよう、様々な対策・工夫を行った。 ・各部屋の利用前後1時間を清掃時間として確保し、アルコール清掃・換気を徹底して行った。 ・「うながっぱ」のイラストを取り入れたソーシャルディスタンス用座席カバーを職員の手作りで600枚(大ホール収容人数の約半数)作成した。会館主催の催事だけでなく、利用者への貸出しも行っている。 ・練習室よりも面積が広い大会議室にピアノを移動し、距離を保って合唱活動ができるようにした。 ・展示室Aの可動壁を収納して代わりに組立式パネルを常設し、窓を開けて換気ができるようにした。 ・コロナ対策のための施設改修や物品整備を行った。各物品は利用者への貸出しも行っている。 トイレ手洗いの自動水栓化、換気用網戸の新設、高機能換気設備の設置、サーマルカメラの購入、消毒液自動ディスペンサー、飛沫防止パネル等	期待以上 8点	コロナ禍で多様な対応が求められる中、利用者の要望に対して迅速かつ適切に対応している。 ・感染対策として部屋の利用前後の清掃・換気の徹底など、制約がある中でもいかにして利用していただけるかを考えた工夫がされている。 ・「うながっぱ」の座席カバーは、利用者だけでなく出演者からも多治見らしい工夫がされているとの評価がある。 ・感染対策のための改修・物品の整備に当たっては、国の助成制度に館自ら応募するなど、財源確保に向けた努力が見られる。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする		年次報告書P32 ・例年駐車場の慢性的な不足への苦情が多く寄せらることから、その対応として駅北立体駐車場の指定管理者(多治見まちづくり株)と契約し、原則会館主催事業の開催日に限り、同駐車場の2時間無料サービスを両者折半の負担により実施している。 ・ただしR2年度はコロナウイルス感染拡大の影響により満車になることがほとんどなく、例年のような駐車場不足に関する苦情・トラブルは特になかった。	期待以上 5点	・苦情に対し、迅速かつ適切に対処している。 ・駐車場不足に対する対処を自ら考え、実行に移している。駅北立体駐車場のサービスは年々利用が増加しつつあり、あらかじめ駅北を利用する来場者が増えるなど、混雑対策に有効となっている。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点		年次報告書P33～34 ・照明のLED化に継続的に取り組んでいる。R2年度は直管蛍光灯のLED化を練習室1・2、展示室B、楽屋通路で行った。(改修総数152本) また、駐車場等の外灯(水銀灯)のLED化も計8ヶ所で行った。 ・サイン更新をH28年度から継続的に行っており、R2年度は駐車場・駐輪場にある屋外サインの改修を行った。 ・2階給湯室の改修をR2年度ネーミングライツ事業として提案し、全面リフォームが実施された。あわせて、食器棚、食器類、ポット等の更新を館自ら行った。 ・R1・R2年度のネーミングライツ事業で整備した移動式反響板については、ロビーだけでなく、小ホールの側面反響板としての活用も積極的にし、利用者ニーズに応えている。 ・雨の吹込みを防止し利用者の利便性向上させるため、雨除けが未設置となっていた中庭の出入口に大型のアルミ製庇を新設した。	期待以上 13点	利用者の声を反映し、利便性向上を考慮した提案がなされている。 ・照明に関する要望に対しては、館内すべての照明の現状(設置器具、消費電力)を洗い出し、LED化等の改善を実施している。2年前まで未着手だった直管蛍光灯のLED化を推進し、改修率が0%から27%まで高まった。 ・分散する駐車場の位置がわかりにくい等の声に対応して、サインの改修を順次進めている。 ・利用者からの要望を受けて、ネーミングライツによる事業提案を活用し、設備改善を実施。(2階給湯室の全面リフォーム、小ホール移動式反響板) ・中庭の出入口の庇の設置は、利用者目線でのサービスの向上の良い事例であると評価。	13点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし			0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし			0点	
合計				85	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・コロナ禍という未曾有の事態を受けて、特に本施設のような文化的イベントを催す施設には、それらの行事が「不要不急」のカテゴリーと認識され、苦難の1年だったと推察する。 ・この困難下で、いかに安心安全に事業を行うか、いかに利用者に喜んでもらうかを創意工夫できる機会でもあった。 ・臨時休館中の館内清掃の徹底、トイレ手洗いの自動水栓化、換気のための網戸の設置など自主的なコロナ対策のための環境整備を行った。 ・全体的な施設の管理運営について、概ね良好に行われている。	合計82点 良好	